

令和元年度離島漁業再生支援交付金による取組概要（深島・屋形島）

1. 集落協定の概要

都道府県名：大分県

市町村名：佐伯市

島名：深島・屋形島

協定締結集落名：深島・屋形島漁業集落

交付金額：1,675千円

(1) 基本交付金：1,675千円

(2) 新規就業者特別対策交付金：0千円

協定参加世帯数：12世帯、19人（うち漁業世帯12世帯、19人）

都道県の都市部の勤労者世帯の有業者一人当りの平均勤め先収入(直近3年平均) 3,609,964円

集落の平均漁業者所得648,717円（平成30年）

2. 協定締結の経緯

大分県の南東端に位置する佐伯市深島・屋形島周辺の海域は、起伏の多い天然礁や、大小無数の岩礁が形成されており、海流は瀬戸内海の低温水と黒潮から流入する高温水とが混合流となることにより栄養豊富な海域となっている。地元漁業者は、このような良好な自然環境に恵まれた漁場を利用して、巻き網漁業、一本釣り漁業、刺し網、緋扇貝・イワガキ養殖などを営んでいる。しかしながら漁業が基幹産業である本地区においても、漁業者の減少や高齢化、水産資源の減少などにより漁獲量は減少傾向にある。このまま放置すれば本地区の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も低下する可能性がある。

このため、本地区における漁業を維持・再生させていくことが重要であり、漁場の再生に関する集落での話し合いを通じて、漁場の生産力の向上に関する取り組みや、漁場の再生に向けた新たな取り組みを実践的に取り組める環境を整えるため、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動を実施することとした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

○水産資源管理保護の協力をお願いする看板を設置し、漁場の維持管理を図った。

活動内容		実施日	参加人数	経費（円）
漁場の維持・管理	看板設置 (水産資源保護)	3月12日、13日	13人	70,730

○人工産卵礁の設置と効果調査を行うことにより、資源の増殖を図った。

活動内容		実施日	参加人数	経費（円）
産卵場・育成場の整備	人工産卵礁 設置 (雑木)	12月9日	3人	49,100
	人工産卵礁 設置 (貝殻くん)	3月12日、13日	12人	777,233
	人工産卵礁 効果調査 (貝殻くん)	3月30日	2人	30,000

②漁業の再生に関する実践的な取組の実施

○新規漁業の着業に向け、養殖試験設備の設置作業、海藻類の種苗の設置を行った。

活動内容		実施日	参加人数	経費（円）
新規漁業の 着業	海ブドウ 養殖試験 (揚水試験)	12月20日 12月25日～28日	7人	489,611
	海藻種苗 (受入)	3月9日、12日	4人	176,918

4. 取組の成果

(1)漁場の維持・管理として離島周辺の水産物資源の保護への協力を依頼する看板を作成し、深島・屋形島両島に設置した。



看板作成



看板設置作業：深島（R2.3.12）

(2)産卵場・育成場の整備として、雑木で作成した人工産卵礁の設置を12月9日に深島で実施した。

3月12日、13日には、貝殻を利用した既製品の魚礁（商品名：貝藻くん）を産卵礁として、3月12日に深島、3月13日に屋形島に設置した。

そして3月30日に、平成30年に投入した漁礁（貝藻くん）の効果調査を実施した。

今後は、水揚げ量も含め、自然物、人工物での設置効果の違いについてなど検証を行う予定である。



人工産卵礁設置：深島（R1.12.9）



人工産卵礁設置：深島（R2.3.12）



人工産卵礁設置：屋形島（R2.3.13）



人工産卵礁効果調査：屋形島（R2.3.30）

(3)新規漁業の着業として深島にて海ブドウ養殖の試験を行うための養殖設備の整備を行った。

平成30年度に整備を開始したビニールハウス内に給排水設備の設置を行い、海水の循環が行われていることを確認することができた。今後は、海ブドウの種苗を購入し、具体的に養殖試験を行う。



海ブドウ養殖設備 (R1.12.20)



海ブドウ養殖設備 (R1.12.26)

(4)同じく新規漁業の着業として、海藻類の増殖試験等を行うため、深島、屋形島に海藻種苗を設置した。

深島は海ブドウ養殖試験用に整備したビニールハウス内に設置し、生育の様子を観察を行う。

今後は、生育状況を確認しながら、漁礁等への設置を行うなど、生育に関する試験を行う予定。



海藻設置：屋形島 (R2.3.9)



海藻設置：屋形島 (R2.3.9)



海藻設置：深島 (R2.3.12)